

令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立館山さざなみ学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ミライシードや教育テレビの番組などを活用したことで、興味関心をもたせながら、楽しみながら社会科の学習に取り組むことができた。
- ・日頃の生活のことと結びつけ考えることや話し合い活動を通して、児童相互で学び合うことにつながった。

(2) 課題

- ・グラフや図、地図にある多くの情報から、必要な情報を読み取り、解決する力をつけていく。
- ・読み取った情報を自分の言葉や、適切な資料を合わせて発表する場面を設けて、表現する力を高めていく。
- ・地図記号や、都道府県の位置など個々によってばらつきのある基本的な知識の定着について、どの児童にも定着するように反復学習を行っていく。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	全体的に目標値を上回っている。	/	/
第5学年	全体的に目標値を下回っている。	全体的に目標値を下回っている。（4年生時）	/
第6学年	全体的に目標値を下回っている。	全体的に定着率が高く学習内容を掌握することができた。（5年生時）	全体的に目標値を下回っている。（4年生時）

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・「安全なくらし—事故や事件」では、交通事故の発生件数について、資料を読み取ることができている。 ・「くらしの移り変わり」では、道具の変遷についてと人々のくらしの様子の変化について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「店ではたらく人」では、販売の仕方に見られる工夫について考え、表現することができる。 ・「市の様子の変り変わり」では、年表に着目して、市の交通の移り変わりを捉えて、判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値を上回っている。 ・社会科に対して関心が高い児童が多い。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・「都道府県の様子」では、八方位の理解をもとに、地図を読み取ることができない児童が多い。 ・「日本の食料生産」では日本の主な食料の自給率について理解ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「特色ある地域の様子」では、特色ある地域の産業に発展に努めていることについて、複数の資料をもとに判断することが難しい。 ・「日本の食料生産」では、地産地消の取り組みについて、複数の資料をもとに判断することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値を下回っているものが多い。 ・複数の資料を読み取ることやそれをもとに表現することを苦手とする児童が多い。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・地図記号や方位など基本的な学習事項を身につくよう、小テストなどを行い、定期的に児童の知識の定着状況を確認する。 ・図やグラフ、地図に多く触れさせることで、その情報を読み取る力を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の生活を結び付けて、地域のくらしの工夫などを考えて、それを表現していく。 ・意見を伝え合う場面を多く取り入れることで、自分の考えを深めていく。 ・学習したことを新聞やスライドなどでまとめ、文章や図などによる表現力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板用いることやタブレットなどの ICT 機器を有効活用することで、児童の関心を高めていく。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ミライシードの活用や小テストを行うことなどし、地理分野などの基本的な知識を繰り返し行うことで定着させる。 ・多くの情報やグラフなどは、教師と一緒に丁寧に読み取り、なぜそのようなようになるのかを考えて、情報を正しく読み取る力をつけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝え合う活動を多く取り入れることで、自分の考えを深めていく。 ・学習したことを文章の説明や図などを用いて新聞やスライドなどでまとめるとともに、どのような考えからそのような結論にいたったのかを説明することで、表現力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板やタブレットを有効活用することで、児童の関心を高められるようにして、学習していく。 ・資料を読み取る中で、児童の考えを発表する場面を多くとり、意欲をもてるように工夫して指導する